

	2011年 1月 1日 第547号	JR東海労新幹線関西地方本部 <a href="http://www.geocities.jp/jrcu_s_kansai/">http://www.geocities.jp/jrcu_s_kansai/</a> 発行責任者 小林 國博 編集責任者 山下 博
--	-------------------------	---

# 2011年 闘春

年頭にあたって

執行委員長 小林 國博

## 課題を明確にして、仲間と共に闘おう!

組合員・OB・家族そして仲間の皆さんに新年のご挨拶を申し上げます。

私たちは昨年、希望にみちた気持ちで新年を迎えました。それは「国民の生活が第一」の政権が誕生したからでした。しかしその希望は失望に変わりました。

私たちが期待した政権は「対米隷属の外交」「官僚主導の政治」「政治とカネ」からの脱却を通じて「国民の生活が第一」の社会を実現することができませんでした。期待を裏切られた国民の政治離れは進み、生活は苦しくなるばかりです。

また他方では、国策捜査が批判され、警察、検察、裁判所制度の欠陥を指摘する声も大きくつくり出されました。

新年を迎えた今、政治と国家の在り方が問われています。同時に、私たちひとり一人がこの問題にどう立ち向かうのかが問われています。

自分と家族と仲間の幸せを実現するためには、どのような政治と国家がいいのかが問われています。そしてその実現のために、いまなにをなすべきか?が問われています。まさに生き様が問われているということです。

現存する国家に規定されて、13年も連続して自殺者が毎年3万人を越えています。うつ病患者も増え続けています。JR東海会社でも近年、社員のうつ病・自殺が増加しています。

事故やヒューマンエラー発生時には現場労働者への責任転嫁と責任追及姿勢がエスカレートしています。このままではJR西日本会社のような最悪の事態も起こしかねません。

会社経営陣の在り方は当然のこと、労働組合の存在意義が問われています。

私たちは、これからも労働者・人民の立場に立って闘わなければなりません。

重要なことは、不正義に抵抗する勇気と仲間を大切に作る人間性を持ち続けることです。

仲間みなさん!今年も更なる反動の嵐が吹き荒れると思います。

私たちのなすべき事は明確です。これからも職場内外の諸問題に流される事なく、こだわりを持ってしっかり見つめ、耳を傾け、共に相談し、諦めずに声を上げ立ち向かって行きましょう!そして共に闘う仲間を拡大しましょう!

組合員・OB・家族・仲間みなさんのご健康とご健勝を祈念して新年の挨拶にいたします。今年もよろしくお願いいたします。